

(R4) 2022年度 生協グループホーム安謝（施設全体まとめ）

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①理念を入口へ掲示し、双方で理念の共有を図る事で、ケアの統一を目指し QOL 向上に活用している ・各階に掲示され、理念に沿って利用者の個々の役割、家族との関わりを深め、QOL 向上に努めている。 ・コロナ禍の為、地域との関わりが行えない等の支障がある。その中でも、行事などは工夫し実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①これまで近隣のスーパーに利用者と共に買い物に出掛けていたが、コロナ感染症予防にて外出は通院や散歩のみとなっている ②職場内で認知症に関し理解を深めるために学習会を行っている ・職場内で認知症について学習会を2回実施しているものの、コロナ禍で地域と交流する機会が行えない状況であった。ただ、地域に住む住民から介護についての相談があれば、その都度対応しています。	民生委員が訪問して三線を弾く事が出来ます。 施設1階の活用として何か検討されていますか。地域に開放して良い関係を作れるのではないでしょか。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①2ヶ月に1度の開催は出来ている ②会議に参加できない時は、会議報告書で周知出来、情報の共有を図ることが出来ている ・2か月に1回開催し、会議録はいつも閲覧でき、職員間でも情報の共有も行えている。また、会議の参加メンバーは、施設職員だけではない為いろんな意見が聞ける会議となっている。	メンバーが限られているので色々な意見を聞くためにも良い方法があれば良いですね		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>①市の担当者へ報告や相談等を積極的に行い指導や助言を頂いている ②「市とのやり取りが良く分からぬ」との意見も半数見られ、行政とのやり取りが上手く周知できていない ・市の担当者へ報告や相談等を行い、指導・助言を頂いている。また、市町村等から利用者の情報提供があれば、その都度提供している。</p>	<p>他職員も輪番制等で参加できると連携についてイメージしやすいのではないかでしょうか。</p>		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>①身体拘束廃止への取り組みに関するマニュアルを全職員が閲覧できるようにしている ②年2回の全体学習会とe-ラーニング学習(オンライン)で資質向上と意思統一を図っている ③玄関の施錠は、夜間帯以外は行っていない ④身体拘束を求めてくるご家族様に対しても、廃止に向けての取り組みを行っている事を伝えきちんと説明している ⑤現在、身体拘束は行っていない ・今現在、対象者はいないが、毎月1回会議を開催し、各階の利用者状況を報告し、今後必要な利用者はいかに検証している。 ・20:00～6:00は施錠している。</p>	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>身体拘束廃止に向けての学習会は年度計画やe-ラーニング学習(オンライン)にて取り組んでいる事を確認した。</p>	<p>やむを得ず身体拘束(4点絆やミトン装着)する際は担当者会議を開催しケアプランに記載してケアと評価を行っている事を確認した。</p> <p>ミトン装着を最低限にしている様子が伺え、きちんと取り組んでいる事が確認できた。</p>
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>①年2回の全体学習会とe-ラーニング学習(オンライン)で知識を得ている ②入浴介助時に留意して身体観察を行っている ・虐待について学ぶ機会があり、職員一人一人が意識を持ち、利用者の状態を観察し、虐待が見過ごされないよう取り組んでいる。(入浴時には、毎回身体確認を行っている)</p>	<p>A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>学習会やe-ラーニング学習(オンライン)で学んでいる事を確認した。</p>	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C.あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①対象者1名を社協の金銭管理事業へつなげる事ができた。残り1名も制度活用に向け支援中だが、社協ではなく、成年後見制度の活用も視野に入れ保護課と相談中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回学習する機会があるが、成年後見制度について、理解している職員が少ない。 			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C.あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①介護職は契約の際に立ち会う事はないが契約書やケアプランで確認している</p> <p>②契約等に関して家族からの苦情はない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者が対応し、書面を確認しながら説明を行っている。 ・契約に関して、家族から苦情は現在上がっていない。 			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C.あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①フィードバックノートや匿名での意見箱等を活用して要望を確認できる取り組みは出来ている</p> <p>②運営に反映できているか分からぬとの意見も少數あり、上記の活用方法が上手く説明できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投書箱を設置しており、匿名での投稿が可能である。また、利用者や家族から要望・苦情があれば、対策・改善まで対応できるツール(フィードバックノート)がある。運営推進会議内でも報告を行っている。 	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C.あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>意見や要望を職員で共有できる取り組みを行っているが、その内容をどう運営に反映させて良いか良く分からぬ職員がいる事を確認した。</p> <p>適正な運営に繋げられるよう会議等で説明が必要。</p>	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C.あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①月1回の定例会議で提案できる機会を設け色々な発言あり</p> <p>②管理者は職員から相談がある時は必ず手を止めて個室で話を聞いている。伝えたい事はきちんと伝える事が出来ている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員個別での面談は年2回あり、相談する機会を設けている。 			

				・月1回の職場会議には、参加できる職員に限りがあり、意見・提案が出にくい状況である。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①年間目標の達成に向け半期に1度以上の個別面談で指導や助言もあり、きちんと評価してもらっている ②いかなる時でも必ず手を止めて話を聞いてくれている ・個別で相談できる機会がある。 ・全体会議内で、業務について話し合える機会がある。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別面談を行っている事を確認した。また話しやすい環境がある事も確認した。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①年間計画表が作成され毎月E-ラーニング学習で資質向上が出来る環境を整えており、報告書を管理者にて確認し助言を行っている ②外部研修に一度だが参加する事が出来た。実践での研修にも参加したい ・E-ラーニングという、個別学習が出来るシステムを導入し、毎月学習できる環境である。 ・外部の研修に参加できる機会が少ないが、法人内の学習会には参加できる様、努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間教育計画表の確認が出来た。 e-ラーニング学習に取り組んでいる事を確認できた。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①コロナ感染症拡大防止にて交流が行えなかった ②同法人内の同業者とは交流が行えた ③今後は社会情勢を見ながら交流できる環境作りを確立させたい ・以前は交流する機会があったが、コロナ禍で出来ない状況である。 ・法人内の広報等で、いろいろな活動や取り組みを知る事のできる環境である。			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①互いに尊重する事で職員本意にならないように努めている ②職員の都合による支援を行った事が時々あった ・利用者との間わり方について学習する機会がある。日常生活の活動の中で、洗濯物たたみや食器洗い等を共に行なうことを意識して職員は関係を築いている。</p>		
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①生活歴の把握が不十分な為に支援方法の確立がされていない ②家族との間わりが途切れないよう努めており、必要時は電話にて報告している ・コロナの状況によって、居室での面会を実施している。今まででは、面会も思うように出来なかつたが、面会再開に伴い、家族等面会が増えていく。</p>	他事業所ではライン等をしています。	

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①話しやすい雰囲気作りは出来ている為に要望等をしっかり確認できている 個別担当制としているが、個々に寄り添った支援は出来ていない ・利用者の希望に沿った居室環境に整えている。本人から要望があった際には、フィードバックノート(要望・苦情受付のツール)に反映し、家族と連携しながら、取り組んでいる。</p>		
----	----------	--	--	--	--	--

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①職場会議や必要時は朝会で個別の事例検討会を行っている ②援助内容変更時のモニタリングが上手く機能していない ・計画作成担当者やケアマネジャーは各階配置し、利用者一人一人にケア担当をつけ、利用者・家族の希望を計画書に取り入れている。しかし、職員間で話し合って、意見やアイディアを出し合う機会が足りないと感じている。	職員間での話し合いの機会が不足して不安に感じているのではないかと思うか。意見をくみ取る事は必要だと思います。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人らしい支援に向けての取り組みを行っているが上手く行えていない様子だが、個別担当職員を配置し個別支援に向けて取り組んでいる事を確認した。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①個別ファイルに記載でき、情報も申し送り箇等を活用する事で情報の共有が図れている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別に記録している事は報告を受け確認した。しかし計画の見直しにまでは上手く行えていない様子。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①GHの特性を伝える事で柔軟な支援が行える視点を持つことが出来ている ②感染症流行する中でも家族の面会方法をその都度変更対応している ・申し送りノート、排泄表、服薬・食事摂取量表の記録を行っている。変化が見られた際には、カルテに記載し、管理日誌を活用し情報の共有を行っている。必要があれば、介護計画の変更も行っている。	コロナ感染症対策等、事業所の特性を活かして取り組んでいると思います。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①コロナ感染症拡大防止にて地域資源の活用が行えていない ・コロナ感染拡大防止にて地域資源の活用が行えていない。 ・学ぶ機会がなく、地域資源を把握しきれていない。	動画やニュースで学ぶのも良いですよ。 3年振りにサロンを再開しています。地域でも外に出て活動し始めています。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①入居時に主治医の変更是必要な事を説明している ②訪問診療や通院時に施設情報提供書を提供し連携を図り関係を築けている			

				・受診の際には、施設での様子や体調を記録した情報提供書で医師と連携を取っている。 ・外部へ受診できる利用者は、かかりつけ医を利用する体制を取っている。		
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①入院前の様子は設情報提供書を通して提供している。また退院時受入もスムーズに行えるようSWと定期的に連絡を取りスムーズに連携できるように取り組みは出来ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診時や入院時に主治医へ情報提供を行っている事の報告を受け確認し、上手く連携している様に伺えた。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①入居時点で説明し同意書に署名捺印を頂いている ②職員は個別カルテに綴っている同意書等で本人家族の意向を確認している ・施設の情報は、情報提供書で病院に提出している。退院に向けて、定期的に連絡を取り、スムーズな受け入れが行えるように取り組んでいる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に説明し書面で意思を確認している事を確認した。 積極的に看取りも行っている事も確認した。また看取りによるトラブルが無い事も確認できた。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①年1回はAEDや心肺蘇生法の訓練を行っているが、実際に対応できるかと不安は抱えている ・AEDの使用方法、心肺蘇生法の訓練を毎年実施している。しかし、実践経験が少なく、不安を抱いている職員もいる。		
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①年2回の訓練はきちんと行えている。訓練後は報告書にて全職員が情報共有している ②夜間一人の時に実際に動けるかどうか不安がある ・年間教育訓練に組み込まれ、避難経路の確認されている。 ・災害時の対応で、地域とのように協力体制をとっていくか課題もある。	この地域は震度6で水位が7M上昇します。施設の屋上へあがる階段等が無いとの事ですが非常階段があれば良いと思いましたが、様子では利用者が利用できないので難しいですね。 ボランティアをして地域との連携を図る事で災害時の支援が受けられるようにしてみてはどうでしょうか。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

					地域住民との連携として「避難所HUGゲーム」を行ってみても良いかも。 1階の有効活用も考えてみてはどうでしょうか。		
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①接遇やプライバシー保護にも力を入れて指導や助言を行っている。また必要時は個別に面談を行う事で配慮した支援が行えるように努めている。職員からも言動に留意していると報告ある</p> <p>・接遇やプライバシー保護の学習会を開催している。</p>	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		法人内研修等を行っている事の報告を受けた。また必要時は個別に面談を行っている事も確認した。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのベースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①業務優先ではなく1人ひとりの意向を確認しながら本人に合った生活リズムで支援を心掛けている</p> <p>②要望等で一対一での個別支援が必要な時は上手く支援が行えていない</p> <p>・出来る限りご本人の意向を考慮し、希望に沿って支援している。入浴や食事時間も利用者の体調や気分に合わせて変更している。</p>			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①毎食分を外注し真空パックされたチルド品を湯煎して提供しているが、味には満足していない</p> <p>②盛り付けは一緒に取り組めていらない</p> <p>③クッキングレクを通して手作りで提供できるようにし、調理も利用者で見えるようにしている</p> <p>・月に1回クッキングレクを開催し、利用者のADLに合わせて、準備や片づけ等取り組んでいる。</p>	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		3食の食事は外部発注で調理済の料理が運ばれてくる事を確認した。 簡単な調理として定期的に行われているおやつ作り等を行っている事を確認した。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①栄養バランスはきちんと計算されている。また食事や水分量はカルテに記載し摂取量把握に努め必要時は主治医や訪問看護師に報告している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスは計算され、食事量、水分量はカルテに記載し、把握している。 ・利用者の嚥下能力に合わせて、食事形態(常食・キザミ・ミキサー)を変えている 		
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①毎食後の歯磨き支援や必要な方は訪問歯科診療にて清潔が保たれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎食後口腔ケアの実施。利用者、個々に合わせた口腔ケア用品の準備、入れ歯の洗浄に取り組んでいる。 ・必要時には、歯科受診や往診歯科の協力を得ている。 	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	訪問歯科医とも連携しケアに勤めている事を確認した。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①排泄確認表を用いて排泄のリズムを把握し個別支援に努めている。また可能な限りトイレでの排泄を支援できるよう用品の選定にも意識している</p> <p>②便秘等でコントロール不十分な場合は主治医に相談し内服薬処方や適切な助言を頂いている</p> <p>③毎朝、陰部洗浄を行い感染症予防に努めている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の状態の確認を行い、排泄リズムや声掛けを行い、失禁回数を減らしている。また、医療機関とも連携し、排便コントロールも行っている。 	<p>A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	排泄チェック表を用いて個別支援に勤めている事を確認した。 便秘症等、主治医と連携を図っている事も確認した。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>①基本的な週3回の入浴はあるが体調や気分によって回数や曜日の変更に柔軟に対応している</p> <p>②入浴に関しての苦情はない</p>		

				・曜日の振り分けを行っているが、利用者の要望に合わせて変更を行っている。 ・同性介助希望者には、同性で対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①就寝時間はそれぞれ違い思いを尊重している ②日中も体調や気分に応じて休息の自由を本人の意思を尊重しているが、活動低下による身体機能の低下が起きないように努めている ・各居室の空調管理や寝具、整頓を行っている。夜間巡回を実施し、気持ちよく過ごせる様支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①お薬説明書が綴られた薬剤情報管理簿にて最新の情報を確認できるようにしている ②週に1回、訪問看護師による体調確認と服薬管理にて服薬に関するトラブルは減少している ③週に1度来所している薬剤師と連携し服薬管理に努めている ・利用者の薬剤情報を一つにまとめファイリングし、いつでも閲覧できるようにしている。 ・週1回訪問看護・薬剤師訪問があるので、連携をとりながら服薬管理を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	前年度より事故は減少しているようだが、職員によって差が出ている様子。次年度は更にトラブルが減少できる取り組みを望みます。	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①喜びや役割、趣味等の生きがい作りが上手く支援できていない ・利用者によっては、家族からおやつや夕食の差し入れがある。 ・集団レクや行事もコロナ禍で思うように開催出来なかった。	色々な取り組みを行う事で生活意欲を高め、そこからやりたい事や楽しみを探しあいましょう。		

36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①コロナ感染症拡大防止策にて近隣のスーパー等の外出が行えない。また感染を防ぐ為、車両での集団移動が行えない ②個別に近隣の散歩は不定期だが行う事で気分転換を図っている ・コロナ感染拡大対策の為、外出支援は行えていない。	コロナ感染対策を十分に行う事で再び活動を始めているところが出てきました。自治会等の活動に参加してはどうか。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①個別対応している。所持している人はその都度、必要な物が購入できるよう環境は整えている ②要望等、家族へすぐ連絡し用品等の購入を依頼している ・本人の状態や家族の要望を確認しながらお金の管理を行っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①事業所の固定電話を無料開放している。またオンライン面会が行える環境を整え提供している ・手紙のやり取りはないが、本人や家族の希望に合わせて、電話ができる様に取り組んでいる。 ・オンライン面会(ZOOM)が行える環境である。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①本人と相談し自立支援の観点と安全確保を視野に入れながら環境整備を行っている ②暦や季節感を取り入れた物などを飾る事で、季節を感じられるよう取り組んでいる ・食卓テーブルやソファーを置いてくつろげる空間にしている。歩行器や車いすが移動できるスペースを確保している。 ・夏には、ベランダでゴーヤー等の夏野菜を育てている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は穏やかに過ごせている様子が伺えた。	

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①見守りが必要な利用者が多く個別に対応が行えていない。またできる限り寝ていいとの要望に対して活動的に過ごせる支援が上手く伝える事が出来ていない ・毎日同じ活動の利用者もいる。コロナウイルス感染対策の為、外出の要望に応えることは難しいが、利用者の訴えは傾聴しながら、本人・家族と連携しながら支援を行っている。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①その場での要望等には対処した支援は行えているが、生活歴や習慣等を把握したうえでの支援は弱い ②「やる事がない」と言われた時は深く考えさせられました ・計画作成担当で、生活歴等アセスメントが閲覧出来るようにしている。利用者の中には、「歌が好き」「スポーツが好き」という利用者がいれば、生活に取り入れたりしている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①主治医からの返書や情報を基に対応した支援が行われている ・定期受診の支援や往診での医師・看護師との連携がある。 ・かゆみや痛み等がある時には、家族や訪問・往診先と連携をとり、ケアが行えるよう取り組んでいる
43	生活の継続性	本人は、自分のベースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①習慣を大切にし利用者主体のもとに支援できている ②可能な限り活動せずにベッドで過ごしたいと話す方には主治医と相談し身体機能維持が行えるような支援を行っている ・自立の高い利用者様は、自分が落ち着く場所(居室等)で過ご

			されている。見守りが必要な利用 者様は、ルーティン化している部 分がある。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①腕時計をしたり衣服を自身で選定したりできている ②テレビやタンス等、私物の持ち込みを許可しており馴染みの物を自室で使用できている ・利用者によって、テレビやラジオを持ち込んでいるが、利用者によつては、安全面を考慮して最小限の物しか置いていない方もいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	テレビや鏡台など馴染みの物を持ち込むことで施設生活に早めに慣れるように取り組みしている事を確認した。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①コロナ感染症拡大防止の為に近隣のスーパー等、出掛ける事が難しい ②受診等の家族との外出時にマスクを外さない協力を依頼するも、外食したりすることがある。感染症の罹患が懸念される ・コロナウイルス感染対策の為、外出支援は行えていない。家族とのドライブは、感染対策を行なながら行っている。	感染対策をしっかりおこなう事で意向に沿った支援ができないでしょうか。	
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できること、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①楽しみ見事は出来ている ②できる事もやりたがらない為に役割探しの支援が上手くいっていない ・本人の状態や ADL 等を確認しながら、支援や役割作り等を取り組んでいる。洗濯物干しや食器拭き等職員と一緒に取り組んでいる。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①交流が大好きな人同士は会話も弾み笑顔も多い。しかし苦手な方や支援が必要な方は生き生きと過ごす時間が少ない様に感じる ・職員とのコミュニケーションを楽しみ、日々の体操、レクリエーション	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	楽しく過されている事も確認したが写真等でも拝見してみたい。

				ンで意欲的な日々を送る事が出来る。また、利用者がそれぞれの役割を持って、家庭的な環境の中で日常生活を楽しめている。		
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①施設から外出しての交流はコロナ感染症拡大防止の為に行えていない。これまで通っていた美容室にも感染予防の為に通う事が出来ていな い。 ・コロナウイルス感染対策の為、近隣との関わりが出来なかった。	地域への交流は感染対策を十分に行う事で検討してもいいのではないか。	
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	①退所希望者がいない為に職員との信頼関係は築けていると思う ②看取りにも対応している為に家族から安心の声も聞かれる ・コロナ禍で地域との交流は出来なかつたが、家族や職員と接することで、笑顔が溢れる日々を送ることが出来ている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議に参加した利用者様と家族様が親しみを感じていると様子を伺う事が出来た。

(参考様式4)

目標達成計画

事業所名：生協グループホーム安謝

作成日：令和 5年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくななるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	服薬支援についてのトラブルがある	配薬ミスが無い (翌日の薬をセットする際に間違いがなくなる)	①職場会議にて手順書(マニュアル)の見直しや作成 ②マニュアル通りに支援できているか確認する ③支援内容を統一する ④毎月の事故対策会議を開催し情報を共有する ⑤インシデントをしっかり報告する	3ヶ月
2	17	課題分析(アセスメント)と評価(モニタリング)が上手く活用できていない	多職種連携で良りよいケアプランの作成に取り組む (疾患悪化予防等)	※個別担当者が中心となって取り組む ①家族や多職種と連携し情報収集する ②週に1度は本人に寄り添う時間を確保する ③支援内容を統一する ④評価し目標達成に向け課題を抽出する	6ヶ月
3	40	本人らしく過ごせていない	趣味・楽しみ・やりがい等を本人と一緒に探し出し、本人らしく過ごせる (一人一つ以上の役割を見つけ出す)	※個別担当者が中心となって取り組む ①家族や多職種と連携し情報収集する ②週に1度は本人に寄り添う時間を確保する ③ケアプランに記載し支援内容を統一する ④評価し目標達成に向け課題を抽出する	6ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。